



訪問ガイド 2026

teamLab Planets

東京・から 27.31€

<https://teamlabplanets.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 料金

歴史 & エクスperiences

起源 & 歴史

一時的なものから制度へ

GOOGLE **4.5** ★★★★★ 57 735 レビュー

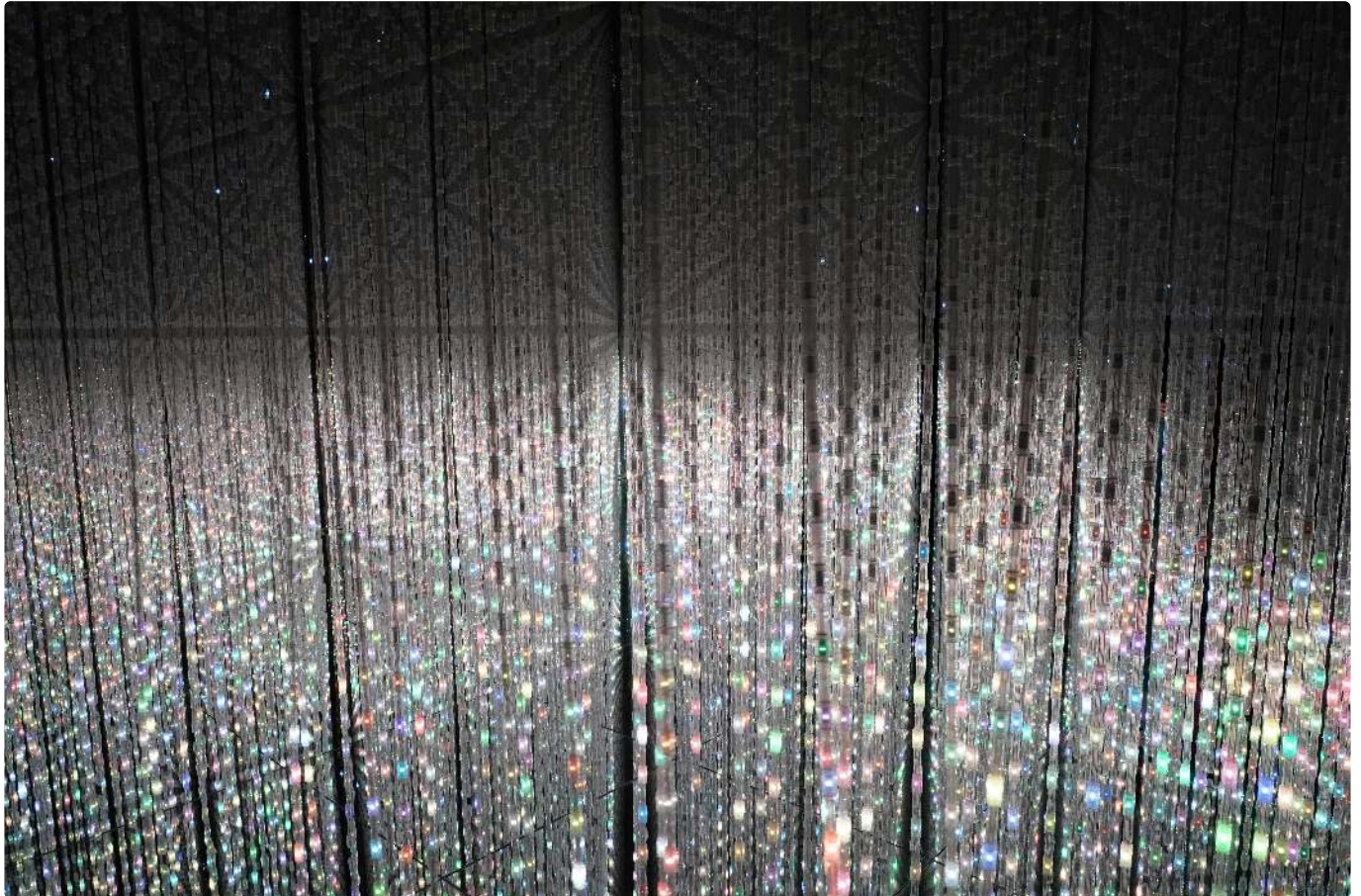
TIQETS **4.6** ★★★★★ 321 レビュー

teamLab Planetsの物語は、2016年に台場で「DMM」と名付けられた一時的なイベントとして始まりました。チームラボによる「プラネッツ アート」この最初のイテレーションは、デジタルアートに対する革新的なアプローチで観客を魅了し、従来の美術館の規範を再定義する体験の基盤を築いた。急激な成功は大幅な拡大を促し、2018年7月7日に新豊洲の常設施設が正式にオープンしました。この戦略的な移転により、芸術プログラムの強化と、専用スペースにおけるより高度な技術の統合が実現した。初年度からこの場所は大きな人気を集め、106の国と地域から125万人以上の訪問者を迎えました。この記録的な来場者数は、チームラボという集団が提供する没入型体験の普遍的な魅力を確認した。経営陣は当初予定されていた2020年末までの公開期間を延長し、閉館を2022年末まで延期したうえで、東京における主要な文化機関として定着することにした。決定

的な転機は、2021年7月2日に「ガーデンゾーン」の開設をもって訪れた。この大きな追加により、当初のコンセプトは真の進化型コースへと変貌を遂げ、今では水辺のエネルギーと植物園の静寂が融合しています。吊り下げられた蘭と、彫刻された苔の空間を導入したことで、感覚的なパレットが大幅に豊かになり、深い水盤との間で切ないコントラストを生み出しました。本日、teamLab Planetsは世界で最も訪問者数の多い美術館24位に位置づけられており、上野の歴史的な機関にも脅威を及ぼしています。2025年に250万人以上の来場者数を記録し、新たな作品が次々と追加されているこの場所は、技術革新、現代アート、そして地域社会へのコミットメントの完璧なシナジーを体現しており、デジタルアートが持続可能な文化的支柱となり得ることを証明しています。

体験

敷居を越えた瞬間、訪れる者は、身体と空間の境界が溶け合うような雰囲気に取り込まれる。もはや作品を「見る」のではなく、その中に物理的に存在しているのです。鏡のような床があなたの足跡を映し出し、光の投影が各動作を包み込み、混在した存在の連続性を生み出します。それは単なる視覚的な鑑賞を超え、すべての感覚を刺激する完全な没入体験である。体験はウォーターゾーンで頂点に達し、そこでは膝まで水に浸かりながら、デジタルの錦鯉が泳ぐ澄んだ水中を裸足で歩きます。この物理的な障壁は、芸術との親密さを高め、独特の浮遊感をもたらします。その後、静謐な庭園への移行により、この強烈な印象を消化し、自然やテクノロジーとの関係性についての個人的な省察の場が生まれる。



訪問の準備

実用的な情報

住所

江東区・地下鉄：豊洲駅（有楽町線、2番出口）または有明駅（有楽町線）。浅草からの水上バスも利用可能。

営業時間

厳格な入場時間帯制。季節や特別イベントにより営業時間に変更される場合があります。チケットをご確認ください。

料金

年齢に応じた無料子ども券あり（バリエーションを確認してください）

所要時間

最低2時間から2時間半を確保し、没入型ゾーンと庭園を存分に楽しんでください。コースはスムーズですが、身体感覚での没入には時間を要します。

写真撮影

ほとんどのスペースで写真撮影は許可されています。鏡面床の反射や、インタラクティブ作品の雰囲気を乱す可能性のあるフラッシュにご注意ください。

対象者

家族連れ（保護者同伴の子供）、カップル、デジタルアート愛好家に最適。13歳未満は保護者同伴が必要です（最大3人の子供につき大人1人）。

アクセス方法

アクセス & 交通手段



地下鉄

: 豊洲駅 — 10 min à pied

Tokyo Station train tracks Viewpoint 6F (16 min) ・ 東京国際空港（羽田）(33 min)



バス

: 豊洲駅前 — 10 min à pied

東京駅線路ビューポイント6F (24 min) ・ 東京羽田国際空港 (53 min)



車

東京駅線路ビューポイント6F (16 min) ・ 東京羽田国際空港 (41 min)



自転車

東京駅線路ビューポイント6F (21 min) ・ 東京羽田国際空港 (54 min)

LOCALISATION

Où se trouve teamLab Planets ?



 teamLab Planets TOKYO DMM, 6 Chome-1-16 Toyosu, Koto City — 135-0061 東京

 35°38.947' N, 139°47.386' E



組織

フローティングなコースを理解する

水ゾーン（メインフロア）

これは体験の心臓部です。靴と靴下を脱いで、膝まで届く深さのプールに入ります。鏡のような床面とインタラクティブなプロジェクションが、デジタルのコイが周囲を泳ぐ液体のような環境を生み出します。このゾーンでは、人の流れと反射光に特別な注意が必要です。

庭園ゾーン（蘭の庭）

2021年に開園したこの空間は、緑豊かな息抜きを提供します。吊り下げられた蘭が空中に浮かび、卵を思わせるモジュール状に成形された苔の世界がそれを彩ります。ここではより静かで瞑想的な雰囲気が漂い、前のゾーンの水生エネルギーとは強い対比を成しています。

過渡空間と仕上げ

二つの主要ゾーンの間には、半導線型の通路が設けられており、スムーズな移行を可能にしています。これらの空間には、「Infinity」のようなインスタレーションが含まれており、液体の表面に描くことができます。展示ルートは多くの場合、段階的な出口で締めくくられ、訪問者が建物を出る前に落ち着きを取り戻せるよう配慮されています。

アクセシビリティ



車椅子アクセス

一部の湿潤エリアでは、スタッフのサポートのもと部分的なアクセスが可能です。



ファミリー向け

保護者同伴の子供にも対応した体験です。着替えの持参は必須です。



オーディオガイド

フランス語, 英語, 日本語



必見スポット

選択

没入体験の必見ポイント

01 TEAMLAB メインゾーン

絶滅した森の捕獲と収集

虹色の色彩で描かれ、絶滅した動物たちが再び命を吹き込んでいるかのような壮大な作品。現在のコレクションにおける目玉の一つであり、驚くべき視覚的密度を提供しています。デジタル要素との相互作用は、触れられるような実在感を生み出します。

💡 このインスタレーションは2025年の総括において紹介され、進化する作品を通じて博物館が常にその提供内容を更新する能力を示しました。

02 TEAMLAB ウォーターゾーン

インフィニティ（鯉のぼり）

ここでは、裸足で水の中を歩きながら、バーチャルな錦鯉と対話します。鏡のような床が奥行き感を増幅し、まるで水没しているかのような錯覚を生み出します。これはこのコースの中で最も身体的かつ記憶に残る体験です。

💡 使用されている技術は、身体と作品の境界を溶かし去ります。これはチームラボの哲学「Body Immersive」の中心的な概念です。

03 TEAMLAB ガーデンゾーン

吊り下げられた蘭の庭

何千ものデジタル蘭が空中に浮かぶ、安らぎの空間。柔らかな光と有機的な形は、ウォーターゾーンの緊張感と完璧なコントラストを生み出します。休息を取り、細やかなディテールを観察するのに最適です。

💡 2021年7月2日に開園し、平均滞在時間を延ばすとともに、その瞑想的な側面が高く評価されました。

04 TEAMLAB 中央ゾーン

ソフトブラックホール

来訪者自身の身体が他の来訪者の身体と関係性を結ぶインタラクティブなインスタレーション。動きは魅惑的な視覚的歪みを生み出し、共有デジタル空間における人間同士のつながりを強調します。

💡 この作品は、チームラボがデジタル技術を通じて他者や環境との新たな関係性を探求しようとする意志を示しています。

05

TEAMLAB 上部ゾーン

空から降り注ぐ水粒子の宇宙

2020年に制作されたこの作品は、空から降る水粒子の雨をシミュレートしています。視覚効果は催眠的で、制御されたデジタル嵐の中心にいるような錯覚を与えます。反射による美しさで非常に写真映えします。

💡 この作品は博物館の拡張時に追加され、運営開始から数年経ってもチームが革新し続ける能力を示しています。

06

TEAMLAB トランジション

散りゆく花の宇宙に漂う

デジタルの花びらが訪問者の周りを静かに舞い降り、詩的で軽やかな雰囲気を醸し出します。これは、選択されたコースに応じてよりダイナミックなエリアやより静かなエリアへの移行を準備する穏やかな瞬間です。

💡 3月に開催される桜祭りなどの季節別バリエーションは、コンテンツが日本の四季に合わせて絶えず適応していることを示しています。

07

TEAMLAB ガーデンゾーン

共鳴するマイクロコスモスの苔庭

卵を思わせるモジュールに展開される、彫刻された苔の宇宙。固まった光の色は日の出と日没を想起させます。非常に個性的な触覚と視覚の体験です。

💡 このモジュールは、「ガーデンゾーン」の一部であり、水生から植物性まで多様な雰囲気を提供するために追加されました。

08

TEAMLAB 特定のゾーン

冷たい命

知覚される温度と冷たい視覚的テクスチャーを巧みに活用したインスタレーション。主要な水槽の喧騒から離れ、より深い内省を促します。瞑想的な余韻で訪問を終えるのに最適な場所です。

💡 この作品は、TeamLabが華やかさから制御された厳寒に至るまで、多様な情緒的な雰囲気を創出する能力を浮き彫りにしています。

アドバイス

充実した訪問のための私たちのヒント

タイミング

十分に楽しむには、最低でも2時間から2時間30分を確保してください。時間帯は厳格に管理されていますので、入場と退場の正確な時刻を確認するためにチケットをご確認ください。

見学ルート

まず、強いインパクトを持つウォーターゾーンから始まり、最後に蘭園で締めくくるところをお勧めします。この順番により、水の体力消耗の強さの後、より落ち着いた雰囲気での訪問を終えることができます。

休憩

施設内にレストランとフードスタンドがあります。ただし、本格的な食事を楽しみたい場合は、すぐ隣にある豊洲市場へ向かうことをお勧めします。そこでは、新鮮で地元の食材を使った素晴らしい料理を味わえます。

オーディオガイド

フランス語、英語、日本語でご利用いただけます。作品の背後にある芸術的概念を理解するために推奨されており、特に「Body Immersive」の哲学を深く知りたい方におすすめです。

チケット

オンラインでの事前予約が必須です。現地での販売はありません。スタンダードチケットとプレミアムパスを比較してください：プレミアムパスには優先入場特典が含まれており、滞在時間が限られている場合に便利です。

写真

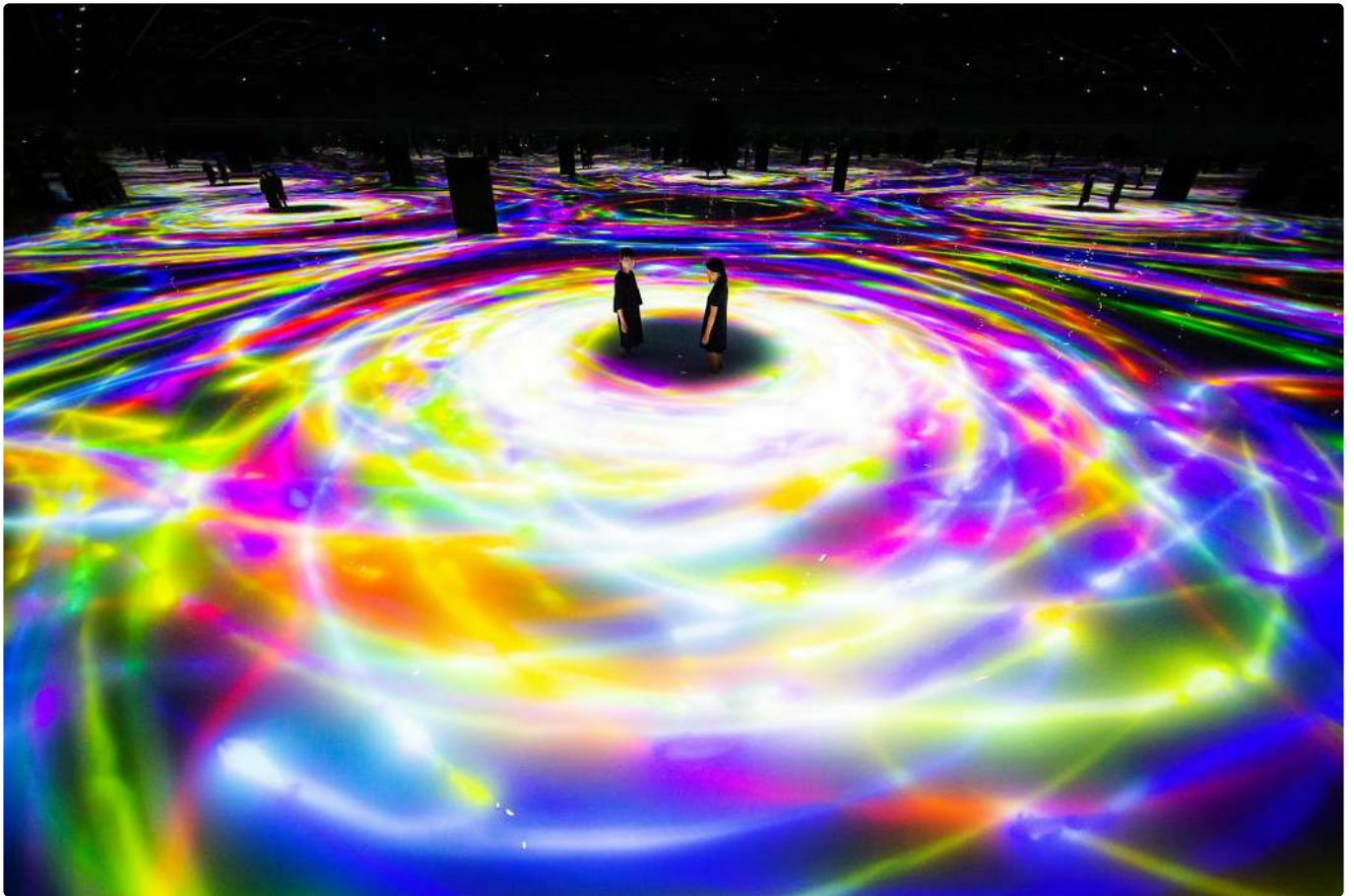
写真撮影は許可されています。鏡面仕上げの床からの反射や、雰囲気を乱す可能性のあるフラッシュにご注意ください。可能であれば、ポートレートモードや軽量三脚をご使用ください。

子ども

13歳未満の方は保護者同伴が必要です（大人1人につき最大3人の子どもまで）。水着や下着、および予備の衣類は必須です。濡れることを想定してください。

快適さ

湿度に対応した服装（ショートパンツ、軽量のパンツなど）を着用し、小さなタオルを用意してください。乾いた衣類を保管するためのロッカーが利用可能です。替えの衣服は必須です！



よくある質問

よくある質問

事前予約は本当に必要ですか？

はい、オンライン予約は必須です。公式FAQによると、当日券の販売はありません。確認された入場時間帯がない場合、入口で入場を拒否されます。日程が決まり次第、早急に予約してください。

StandardチケットとPremium Passの違いは何ですか？

Standardチケットはすべての作品へのアクセスが可能ですが、優先入場はありません。Premium Passには自動の優先入場（ファストトラック）と追加の特典が含まれます。待ち時間の許容度に応じてお選びください。

予約の変更やキャンセルは可能ですか？

変更/返金ルールは購入した店舗によって異なります。公式ショップの条件がサードパーティのリセラーに自動的に適用されるわけではない点にご注意ください。必ず個別の条件をご確認ください。

現在プロモーションはありますか？

当サイトでは季節限定のプロモーションが表示されることがあります。StandardチケットとPremium Passの提供可能なオファーを定期的に更新しています。最新の割引情報は料金セクションをご覧ください。

見学にはどのくらい時間がかかりますか？

完全な見学には最低2時間を見込んでください。コースにはゆっくり歩く必要がある水ゾーンが含まれています。変化する作品の詳細をすべて撮影したい場合は、追加の時間を確保してください。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

大崎での起源

新豊洲への恒久設置以前、このプロジェクトは2016年に大崎で一時イベントとして始まりました。このパイロットフェーズにより、国際的な本格展開前に技術の検証と体験の洗練を行うことができました。

DMM.comとのパートナーシップ

DMM.comと共同で設立されたこの技術パートナーシップは、複雑なデジタル環境の開発において極めて重要な役割を果たしました。アーティストとテック大手のシナジーは、従来のデジタルアートの限界を打ち破りました。

来場者数の記録

2025年、この博物館は250万人の来場者を迎え、世界で最も訪問者が多い博物館ランキングで24位にランクインしました。この成果は、東京のいくつかの歴史的な博物館を相対的に影薄くさせ、デジタルアートの圧倒的な魅力を示しています。

季節の移り変わり

博物館は日本の四季に合わせて展示作品を定期的に更新しています。例えば、3月には桜の花が、7月にはひまわりが、9月には紅葉が現れ、訪れるたびに異なる体験を提供します。

博物館 周辺

豊洲に位置するこの現代的な地区は、一日をより長く楽しむのに最適な環境を提供しています。すぐ隣には、日本最大の豊洲市場があり、芸術的な体験の強さの後で、新鮮で本格的な昼食を提供しています。未来主義を好む方々には、ショッピングセンター「DiverCity Tokyo Plaza」がユニコーンガンダムの巨大像や多種多様なレストランを備えています。リラックスしたいなら、新豊洲公園は落ち着いた緑豊かな空間を提供しています。最後に、台場への日帰り旅行では、東京アクアリウムやリバーサイドシティ複合施設を訪問でき、文化的・都市的な発見に満ちた一日を締めくくる。



teamLab Planetsは単なる見学ではなく、感覚の変容そのものです。その場所を去るとき、あなたは魚たちとともに水の中を歩み、光の庭で息を吸ったという記憶を胸に抱いて去る。それは永く記憶に残る体験であり、デジタルの全貌において芸術が体験され、触れられ、感じ取られることを思い出させる。